

# 広島大学原爆死没者追悼式

広島に原爆が投下されて、四十七年目、広島大学原爆死没者追悼之碑が建立されて十八年目を迎える今年も、八月六日、広島大学大学会館中庭の追悼之碑の前において、原爆死没者追悼式が行われた。

今年から大学行事の一環として行われた追悼式は、遺族及び同窓会代表並びに学長をはじめ部局長等学内外の関係者、約一〇〇名の出席のもとに、一、一六七名の靈前において、

死没者名簿の奉納、黙とう、学長の式辞、献花及び献水がおごそかに執り行われた。今年は、三十五名の死没者が判明し、追悼之碑に合祀した。

式典に引き続いだ旧理学部横の

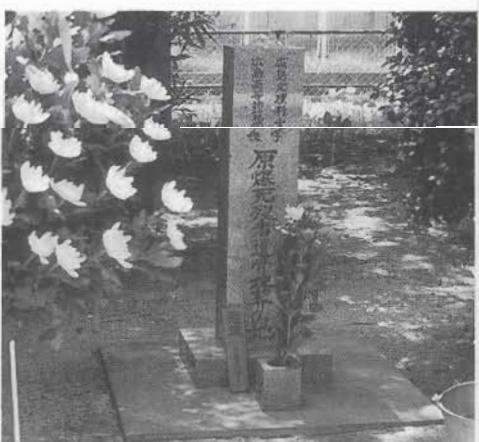
「広島文理科大学  
広島高等師範学校 原爆死没者遺骨埋葬の地」の石碑に関係者が参列して、献花及び献水を行った。

なお、今年度から、過去一年間に亡くなられた方を調査し、原爆死没者名簿に記載するかどうかを決定する機関として、広島大学原爆死没者調査委員会が設置された。

## 「広島文理科大学 広島高等師範学校 原爆死没者遺骨埋葬の地」の石碑建立の由来

- 被爆当日の夕方及び翌日にかけて、当時の文理大・高師（現広大東千田町キャンパス）構内及びその周辺にわたって、詳しく調べ、遺体八、九体及び遺骨十数体が発見された。
- 遺体は、その氏名を確認したうえで、一部の遺族のご参列のもとで、八月八日構内において、丁重に合同火葬に附した。

（広島大学原爆死没者慰靈行事委員会調査資料）



- 上記の火葬の遺骨及び遺骨として発見されたものについては、遺族にお渡しした。
- 遺族にお渡しえなかつた遺骨については、大学本部（現在の理学部事務室）に安置し、後日遺族が来学された機会にお渡した。
- 同年末までに遺骨の大部分は遺族にお渡したが、なお小量の（鉄カブト1杯足らず）の遺骨が残っていた。これを鉄カブトに納め、さらに鉄カブトで覆つて、理学部裏に埋葬した。
- 埋葬場所は、現在理学部裏にあるボイラーリ室の地点であり、昭和四十五年ボイラーリ室建設の際に鉄カブトは発見されたが遺骨はすでに完全に土化していた。
- 以上のように事情が明らかになつたので、昭和四十七年十二月二十五日遺骨埋葬の地附近に石碑「広島文理科大学  
広島高等師範学校 原爆死没者遺骨埋葬の地」を建立した。

## 日本に対する印象と感想

社会科学研究科博士課程前期 法律学専攻一学年 原 晋

晶

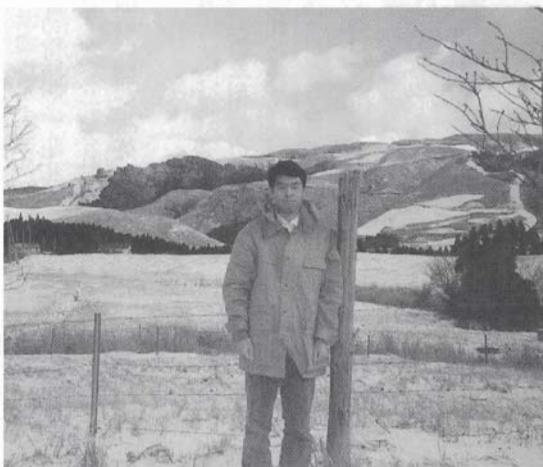
私は広島大学に入学する前、公の仕事で二度も日本に来たことがある。しかし、その時は日本の表だけを見て帰った。今回は私費留学生としての生活を通じて、日本に対する印象を一層深めた。次に私が見た日本の実像について書くことにしよう。

### 日本人の 礼儀の正しさ

初めて日本に来た外国人に日本に対する印象は何ですかと聞くと、おそらく日本人は礼儀が正しいと答えてくれるだろう。日本では店で買物をしても、街を歩いていても「ありがとうございます」「失礼します」という丁寧なことばがよく耳に入ってくる。そして公共の場所では日本人はよく公衆道徳を守っている。例えば、喫煙禁止の部屋ではタバコを吸う人は決していない。それから又「出口」と「入口」と書いてあるところでは、指示の反対方向に出入りする人もほとんどいない。ほんとうに感心した。

### 日本人の教育に 対する熱心さ

広島大学において新学期が始まる時、一番目立つことは、いろいろな奨学金の募集の掲示がなされることである。奨学金を給付する



1991年12月29日 九州阿蘇山の山麓にて

### 今後の課題— 両国青年の交流

中日両国は一衣帶水の隣国で、二千年以上の中日友好交流の歴史を持つている。日本ではたいていの年配の方々は、中国に深い理解を持っているようだ。しかし、これに対して多くの日本青年は中国に真の理解を持つていないと私は痛感している。中国と日本はともにアジアひいては世界での大国である。両国との間の子々孫々の友好と平和共存は、アジアひいては世界和平に大いに貢献することができる。中日両国の青年は両国の将来の担い手である。となつたのは、日本人の教育事業に対する熱心さと切つても切れない関係にあると思う。従つて、これからもどのように中日両国青年の友好交流を深めていき、中日両国の青年がどのようにして代々仲良くしていくのかということは、中日両国政府における大きな課題であらう。

日本文化は中国文化の影響を強く受けている。漢字も使われており、また文化の共通点も多く存する。しかし、日本人は長い歴史の流れの中で自分の独特な文化をつくり出し、そして今日までそれを守ってきた。例えば日本の和服は世界で有名であり、お城の建て方と家屋の建て方も独特なものである。他に能楽、落語、神道などは日本の素晴らしい文化の伝統として数えられよう。その上、日本の神社と庭園の雰囲気も日本に来る世界の人々に強い感銘を与えている。

好 你 は 今 日 ! ハ オ ニ イ

### 日本文化の特色